

---

# 序文

---

乳幼児健診は小児科医の重要な役目のひとつですが、系統立てて大学で教わった記憶がありません。卒業後も教えられた記憶がありません。教えられたのはせいぜい、身長、体重、頭囲の増加、哺乳量などについてでしょうか。疾患ではないだけに、学生時代はあまり興味を抱かなかった記憶があります。小児科学の教科書にもページ数を割いての記述はありませんでした。学問ではないと考えられてきたのか、またはあまりにも実地的で、アカデミックではないと考えられてきたのでしょうか。しかし小児科の実臨床では、乳幼児健診は大きなウエイトを占めています。

小児科医は乳幼児健診の実際をどこで学んだらよいのでしょうか。今のところ、雑誌や単行本など限られたものでしか、まとまった情報は得られないように思います。小誌も過去に乳幼児健診の増刊号を出していますが、今回の増刊号ではさらに踏み込んで「乳幼児健診でよくある疑問・質問への対応」をまとめました。まさに「よくある疑問・質問」に対して、微に入り細に入り解説いただいています。その内容はアカデミックでないどころか、専門の深い学問の上に立った根拠ある回答です。

保護者からの素朴な疑問・質問に対して、つい曖昧に答えてしまうことがありますが、本書を読んでいただき、自信を持って回答いただければ、保護者の安心につながるでしょう。乳幼児健診では多くの場合、その場で即答することを要求されます。こうした意味では、病気の子どもをじっくり診察して、きちんと考える時間がある診察とは大きく異なります。本書を熟読いただき、予期せぬ問いに備えていただくのはどうでしょうか。多岐にわたる「よくある質問」への回答がちりばめられています。ぜひお楽しみください。

2024年11月  
「小児科」編集委員会